

令和3年7月5日
大地の芸術祭実行委員会
(十日町市観光交流課)

**越後妻有里山現代美術館
まつだい「農舞台」フィールドミュージアム
リニューアルオープンについて**

大地の芸術祭の主要施設「越後妻有里山現代美術館」と「まつだい『農舞台』フィールドミュージアム」が7月22日（木・祝）にリニューアルオープンします。オープン前日の7月21日（水）にはメディア向け内覧会を行います。

記

1 公開日

7月22日（木・祝）午前10時00分開館（※両施設とも）

2 概要 ※詳細は添付資料のとおり

(1) 『越後妻有里山現代美術館（Museum on Echigo-Tsumari^{モネ}）』について
前回リニューアル(2012年)から3回のトリエンナーレを経ており、拠点としての魅力の再付加が必要なことから展示作品の入れ替えを実施します。国内外の注目作家の新作を展示するほか、キナーレを設計した原広司＋アトリエ・ファイ建築研究所が改修を担当し、より美しい美術館に生まれ変わります。

(2) 「まつだい『農舞台』フィールドミュージアム」について

まつだい雪国農耕文化村センター「農舞台」・松代城を含む城山エリア全体が、「まつだい『農舞台』フィールドミュージアム」として生まれ変わります。

- ① まつだい雪国農耕文化村センター「農舞台」…イリヤ&エミリア・カバコフの新作3点が公開され、屋外の人気作品と合わせ、カバコフ夫妻の作品群が集積する他に類を見ないスポットとなります。
- ② 松代城…豊福亮、エステル・ストッカー、鞍掛純一＋日本大学芸術学部彫刻コース有志の作品を展示します。

3 メディア向け内覧会について

(1) 日時 令和3年7月21日（水）

【午前】「越後妻有里山現代美術館（MonET）」内覧会

午前9時30分 受付開始／越後妻有里山現代美術館で受付

午前10時00分 内覧会開始

午前11時00分 終了（予定）

【午後】「まつだい『農舞台』フィールドミュージアム」内覧会

午後0時30分 受付開始／まつだい「農舞台」駐車場側階段下で受付

午後1時00分 内覧会開始

午後2時30分 終了（予定）

※いずれも、関口市長あいさつ、北川総合ディレクターあいさつ、作品解説を予定しています。

(2) 事前申込み

メディア向け内覧会へ参加する場合は、7月16日（金）までに実行委員会事務局まで、電話またはメールにてお申込みください。

■お問合せ先

大地の芸術祭実行委員会事務局

（観光交流課芸術祭企画係）担当：宮澤、高橋

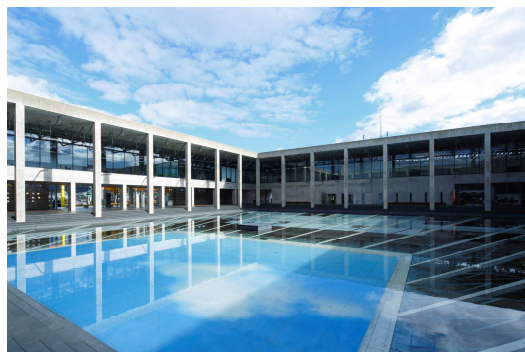
☎025-757-2637

メール t-kanko@city.tokamachi.lg.jp

① 越後妻有里山現代美術館（Museum on Echigo-Tsumari [MonET]）^{モネ}

設計＝原 広司＋アトリエ・ファイ建築研究所

常設作品の多くを入れ替え、国内外の注目作家の新作が登場。美術館を設計した原 広司＋アトリエ・ファイ建築研究所が改修も担当し、細部までこだわった美しい美術館となる。レアンドロ・エルリッヒ作品のビューポイントもより見やすく改修。



レアンドロ・エルリッヒ「Palimpsest : 空の池」

Photo by Kioku Keizo

▼ 入館料

※10/31までリニューアルオープン特別価格

特別企画展 1,000円（小中学生500円） ※常設展示含む
常設展示のみ 800円（小中学生 400円）

▼ 新作作家

名和晃平（日本）／中谷ミチコ（日本）／目（日本）／森山大道（日本）／イリヤ&エミリア・カバコフ（ロシア）／ニコラ・ダロ（フランス）／マルニクス・デネイス（オランダ） ※順不同



中谷ミチコ「遠方の声」



目「movements」

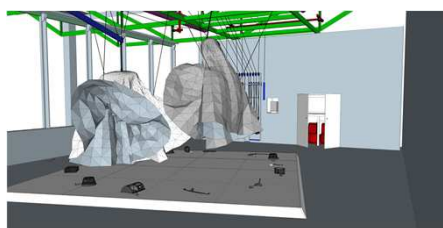


森山大道「彼岸は廻る
一越後妻有版『真実のリア王』」



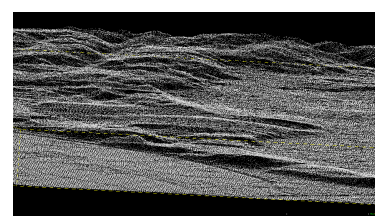
イリヤ&エミリア・カバコフ
「16本のロープ」

モスクワのアトリエでの展示のクロージング 1984年 Photo:Ilya Kabakov



ニコラ・ダロ「エアリエル」

※公開日程調整中



マルニクス・デネイス
「Resounding Tsumari」



詳細は、大地の芸術祭の里 公式ホームページをご確認ください。

② まつだい「農舞台」フィールドミュージアム

まつだい雪国農耕文化村センター「農舞台」や松代城を含む城山エリア全体が「まつだい『農舞台』フィールドミュージアム」として生まれ変わる。

イリヤ&エミリア・カバコフの人気作品「棚田（2000年）」、「人生のアーチ（2015年）」とあわせて、カバコフの作品群“カバコフの夢”を展開。全8作品のうち、新作3点を農舞台で展示する。

松代一帯を見渡せる「松代城」では3作家の作品が展示され、各階をアート空間に変容させる。



まつだい雪国農耕文化村センター「農舞台」
設計=MVRDV

▼ 入館料

まつだい「農舞台」フィールドミュージアム券
1,000円（小中学生500円） ※10/31までリニューアルオープン特別価格

- ・農舞台常設展示 500円（小中学生 200円）
- ・まつだい郷土資料館 300円（小中学生100円）
- ・松代城 500円（小中学生200円）
- ・人生のアーチ 300円（小中学生100円）
- ・フィヒテ（唐檜） 300円（小中学生100円）



松代城

▼ 新作家

イリヤ&エミリア・カバコフ（ロシア）／東弘一郎（日本）／エステル・ストッカー（イタリア）／豊福亮（日本）／鞍掛純一+日本大学芸術学部彫刻コース有志（日本） ※順不同

まつだい雪国農耕文化村センター「農舞台」



イリヤ&エミリア・カバコフ
「プロジェクト宮殿」

Photo by Dirk Pouwels © Ilya & Emilia Kabakov



イリヤ&エミリア・カバコフ
「アーティストの図書館」

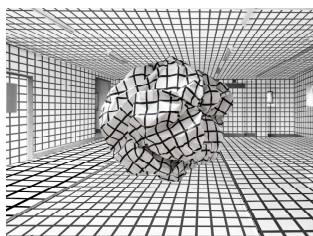
Photo by Dirk Pouwels, OUWELS © Ilya & Emilia Kabakov



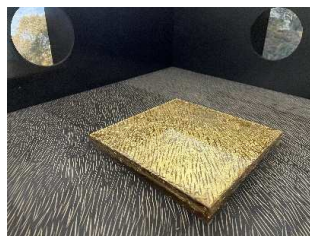
イリヤ&エミリア・カバコフ
「10のアルバム 迷宮」

Photo by Axel Schneider © Ilya & Emilia Kabakov

松代城



エステル・ストッカー
「憧れの眺望」



鞍掛純一+日本大学芸術学部彫刻コース有志
「脱皮する時」



らくじゅだい
豊福亮「樂聚第」

③ その他

越後妻有里山現代美術館・まつだい「農舞台」フィールドミュージアムのセット券を販売。
NPO法人越後妻有里山協働機構が運営するその他の大地の芸術祭施設の入館もできる。

▼料金：2,500円（小中学生1,000円） ▼期間：令和3年7月22日（木・祝）～10月31日（日）